

科目名	日本の歴史と文化			ナンバリング	GEN124	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	久野雅司	担当教員					

授業の概要	文化とは社会における成員の行動や生活様式によって産み出された産物であり、知的洗練や精神的進歩による成果である。我が国においても、歴史的な発展の各段階において様々な文化が産み出されてきた。この授業では、政治と生活様式の発展にともなって生成された文化とその醸成を理解することを目的とする。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歴史と文化の発展段階を理解して、身に付ける。</li> <li>2. 歴史と文化の相関関係を説明することができる。</li> <li>3. 全体史の過程と地域社会における文化とを関連付けて示すことができる。</li> </ol>						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	日本史の全体的な通史について把握しておくこと。高等学校の日本史の教科書や、概説書を一読しておくこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
	○	4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の歴史の展開と国家の形成過程について説明できる。</li> <li>2. 日本における文化の形成と醸成について説明できる。</li> <li>3. 日本における政治と文化の関係について説明できる。</li> <li>4. 日本の社会の進展について説明できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従来の定説と新しい学説について、比較検討できる。</li> <li>2. 歴史資料を史料批判できる。</li> <li>3. 歴史資料に基づいて、自ら論理構成を組み立てて立論できる。</li> </ol>

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)	○	○	○				80%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	○			○			20%

課題、評価のフィードバック	期末試験の解答用紙は、学生から要請があったらいつでも開示できるように準備しておく。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	歴史学における発展段階と文化	歴史学における発展段階と、文化とは何かについて解説する。	
	第2回	「日本」の国土の形成と国号	「日本」がどのようにして成り立ったのかを解説する。	
	第3回	縄文時代における生活と文化	縄文人の生活と信仰を解説し、それによって産み出された文化を説明する。	
	第4回	弥生時代における生活と文化	弥生人の生活と信仰を解説し、それによって産み出された文化を説明する。	
	第5回	古墳と大和政権	大和政権の成立と古墳文化の広がりについて解説する。	
	第6回	推古朝と飛鳥文化	聖徳太子による政治と飛鳥文化の興隆について解説する。	
	第7回	律令国家の形成と天平文化	奈良時代における政治と天平文化について解説する。	
	第8回	貴族文化と国風文化	平安時代における摂関政治と文学の発展、国風文化の興隆について解説する。	
	第9回	武家社会の成立と武士の生活	鎌倉幕府の成立と政治体制、武士の生活と鎌倉文化について解説する。	
	第10回	室町時代における生活と室町文化	室町時代の政治の進展と、人々の生活・文化について解説する。	
	第11回	戦国・織豊期と安土・桃山文化	室町時代後期における政治と文化について解説する。	
	第12回	幕藩体制の成立と人々の生活	江戸幕府の成立による幕藩体制の確立と、人々の生活について解説する。	
	第13回	幕藩体制の展開と江戸時代の文化	江戸時代における元禄・化政文化について解説する。	
	第14回	明治維新と日本の近代化	明治新政府の確立と日本の近代化について解説する。	
		第15回	授業のまとめ	第1回から第14回までの講義の要点をまとめて、日本の歴史と文化の総括をする。
	試験	年度末の補講・試験期間に、論述形式の筆記試験を行う。		
授業の進め方		配布資料を中心に講義を行う。		
授業外学習の指示		配布資料を基に高等学校の歴史教科書を読み直して、授業内容を復習して確認すること。次いで、次の授業の予習を行うこと。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	指定しない。講義内で配布する資料を参考にすること。
参考書	高等学校の日本史の教科書。各種概説書。
参考URLなど	なし。
その他	